

2007年(平成19年)3月20日(火曜日)

ダウン症のピアニスト 越智さん

来月21日 函館でリサイタル



越智さんのリサイタルのポスターを手にする伍楼さん

愛知県在住のダウン症のピアニスト、越智章仁さんのリサイタルが、四月二十一日午後二時から函館市芸術ホール(同市五稜郭町)で開かれる。障がいのある人もそうでない人も、ともに音楽を楽しんでもらいたいと、主催者は来場を呼び掛けている。(内田晶子)

越智さんは、一九七七年生まれで、三歳でダウン症と診断を受けた。九歳から、ピアノ講師をしている母親の知子さんの手ほどきでピアノを始め、十歳で初めてコンサートを開いた。

音符の読み書きはできないが、オリジナル曲を作曲し、これまでCD四枚をリリース。二〇〇六年には、カナダで開かれた第九回世界ダウン症会議の開会式で演奏し、活躍するダウン症者に贈られるメリットアワード賞を受賞した。

現在は愛知県内の私立作業所で働きながら、ピアニストとして、演奏や作曲活動を行っている。

函館での演奏会は初めて。

「障がいある人 ぜひ来場を」

自閉症の子を持つ保護者らでつくる日本自閉症協会北海道支部道南分会と、ダウン症の子を持つ保護者らでつくる北海道小鳩会函館分会の共催で、函館臥牛ライオンズクラブの協賛。市内の音楽家石丸典子さんとピアニスト後町久子さんも賛助出演する。

日本自閉症協会北海道支部道南分会会長の伍楼礼子さんは「障がいのある人は、演奏中に声を出したり立ち上がったりのことがあり、なかなか演奏会には行けないが、みんな音楽が好き。車いす席もたくさん用意するので、ぜひ聴きにきてほしい」と話す。

一般(小学生以上)千五百円。ペア(障がいのある人と付き添いの人)二千円。松柏堂プレイガイド、芸術ホールなどで販売中。

車いす席を希望する人は事務局の秋田さん ☎0138・34・7001へ。